保証書

持込修理　無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で、保証期間内に故障した場合のみ無料修理いたします。
2. 保証期間内でも次の場合には有料修理となります。
   (イ)使用上の誤り、または、自己修理、分解、調整、改造などによる故障及び損傷
   (ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障及び損傷
   (ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、水掛りなどによる故障及び損傷
   (ニ)消耗または摩耗した部品、付属品の交換
   (ホ)本書のご提示がない場合
   (ヘ)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは文字を書きかえられた場合(但し、販売シールや領収証でも未記入項目の代用となります。)
   (ト)本品本来の用途以外に使用された場合の故障及び損傷
   (チ)一般家庭用以外(例:業務用、または業務用に準ずる使用方法)で使用された場合の故障及び損傷
3. ご贈答、ご転居などで本保証書に記入のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

商品名	Bluetoothテレビ用スピーカーシステム			★お買い上げ日：　　年　　月　　日
型　番	ASP-1957Z	品　番	03-1957	保証期間：本体1年間(お買い上げの日から)
お客様	★お名前(ふりがな)　　様 ★ご住所　〒　　ー 電話　　( )			
修理メモ				
販売店	★住所　店名　電話 ㊞			

(注)★印欄に記入のない場合は無効となりますので、必ずご確認ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
※この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社修理ご相談センターにお問い合わせください。
※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

OHM　株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
http://www.ohm-electric.co.jp

製品に関するお問い合わせは　お客様相談室 へ
●通話料無料　0120-963-006
●携帯・IP・公衆電話からは　048-992-2735
電話受付　平日 9：00～17：30　土曜 9：00～17：00
日曜・祝日及び年末年始は除きます

修理に関するご相談は　修理ご相談センターへ
電話受付　048-992-3970　平日 9：00～17：00
土・日・祝日及び年末年始は除きます

03-1957A

AudioComm®

取扱説明書
保証書付

Bluetoothテレビ用スピーカーシステム
型番：ASP-1957Z　品番：03-1957

このたびは、AudioComm® Bluetooth テレビ用スピーカーシステムをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本機の機能を充分に発揮させ、安全にお使いいただくためにも、
ご使用前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますように大切に保管してください。

目　次

免責事項……1
安全上のご注意……1〜3
Bluetooth 無線技術について……3〜4
各部の名称……5
リモコンへの電池の入れかた……5
接続・設置のしかた……6
基本操作……7〜8
Bluetooth 機器のペアリング方法……8
故障かなと思ったら……9
主な仕様……9
お手入れ方法……10
保証書とアフターサービスについて……10
保証書……裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や、破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた、直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果及び、直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使い方をすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示を無視して、誤った取扱をすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。
⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取扱をすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与えたりする可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 （左図の場合は感電注意が描かれています。）
	○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。 （左図の場合は分解禁止が描かれています。）
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。 （左図の場合は、ACアダプターをコンセントから抜く、が描かれています。）

⚠ 警告

 コンセントから抜く	**万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感知したら、すぐに本機の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く** ●火災・感電の原因になります。 ●煙が出なくなるのを確認して販売店に修理を依頼してください。	 禁止	**本製品を使用時は必ず付属のACアダプターを使う。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しない** ●付属のACアダプターは本製品専用です。 ●製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。
 コンセントから抜く	**万一、内部に異物や水などの液体が入った場合は、すぐに本機の電源を切り、ACアダプターをコンセントから抜く** ●火災・感電の原因となります。 ●販売店にご連絡ください。	 禁止	**本機やACアダプターのコードに重いものをのせたり、コードの上に本機をのせない** ●コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**本機を分解、修理、改造しない** ●火災・感電の原因となります。	 禁止	**表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない** ●火災・感電の原因となります。
 禁止	**海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない** ●火災の原因となります。 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。	 禁止	**ACアダプターのコードを敷物などで覆わない** ●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。
 修理を依頼	**ACアダプターのコードが傷んだら（芯線の露出、断線など）、使用を中止する** ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。 ●修理をご依頼ください。	 禁止	**ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない** ●コードが破損して火災・感電の原因となります。
 接触禁止	**雷が鳴り始めたら、安全のため本機及びACアダプターやコードに触れない**	 禁止	**浴室、台所など湿気の多い場所や水飛沫のある場所では使わない** ●感電や故障の原因となります。

⚠ 注意

 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない** ●落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。	 禁止	**本機の上面（ガラス面）に物を落としたり、熱い物や重い物を載せたり、水分をこぼしたり、刃物などで衝撃を加えない。** ●ガラスが破損してけがをしたり、破損や故障、変形、変色のおそれがあります。
 禁止	**ACアダプターのコードを熱器具に近づけない** ●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止	**ほこりの多い場所に置かない** ●火災・感電の原因となることがあります。
 禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない** ●キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。	 コンセントから抜く	**移動させるときやお手入れの際は、安全のためACアダプターをコンセントから抜く** ●コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。

次ページに続く

⚠注意

電池の極性に注意	**電池の極性に注意** ●リモコンに電池を挿入する際は、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、表示通り正しく入れてください。間違えると電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	濡れ手禁止	**濡れた手でACアダプターを抜き差ししない** ●感電の原因となることがあります。
禁止	**指定以外の電池は使用しない** ●電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。	禁止	**ACアダプターを抜くときはコードを引っ張らない** ●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 ●必ず本体を持って抜いてください。
		コンセントから抜く	**旅行などで長時間本機を使わないときは、必ずACアダプターをコンセントから抜き、リモコンの電池も取り外す** ●火災・液もれの原因となることがあります。

コイン型電池(リモコン用)を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠警告	・火中への投入、加熱、分解をしない ・ショートさせない ・乳幼児の手の届かないところに置く。万一、飲み込んだ場合はすぐに医師に相談し、指示を受ける	⚠注意	・⊕⊖の表示通りに入れる ・指定以外の乾電池を入れない ・使い切った電池はすぐに取り出す ・しばらく使わないときは電池を取り外す

●万一液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。
●万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。
●使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行う無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、近距離(最大10m以内)であれば、無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。
※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。
※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】　Bluetooth標準規格　V3.0+EDR
【対応プロファイル】　・A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
　・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本機は、市販のBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証したものではありません。

通信可能範囲について

Bluetoothの通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティーについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティとして、標準規格に準拠したセキュリティ機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為は法律により罰せられることがあります。

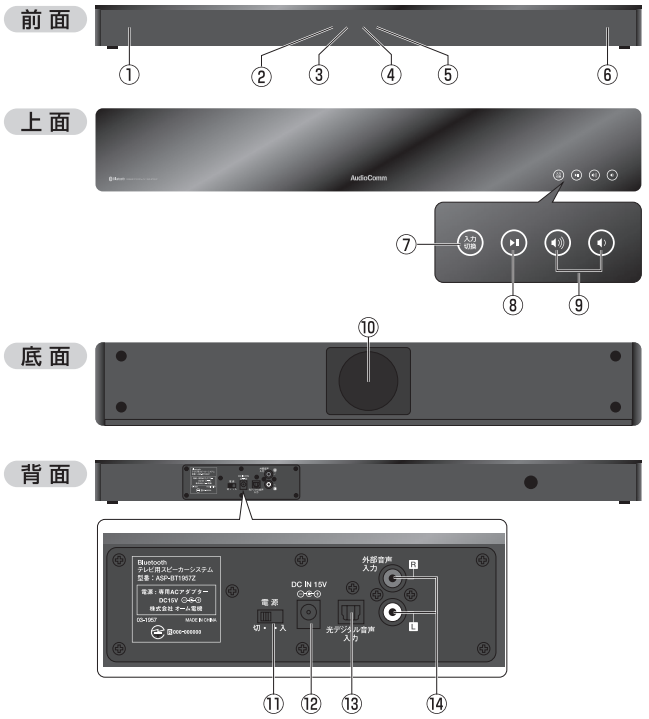
使用周波数と注意事項

●本機は2.4GHz帯の2.4000GHzから2.4835GHzを使用できます。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)、及び特定小電力無線局、アマチュア無線局(免許を要しない無線局)などが運用されています。
●本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局などが運営されていないことを確認してください。
●万一、本機から上記の無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか、速やかに電源を切り、使用を中止してください。
●また、以下の場所においても、本機の通信感度や周囲の各種システムに良くない影響を及ぼすおそれがあります。その場所でのルールに従う、使用場所を変更する、使用を中止するなど、十分に注意し対応してください。
　・電子レンジなど電磁波が発生する場所　・無線LAN環境下　・病院内　・自動車内
　・エレベーターや自動ドア、火災報知器の近く　・電車／航空機内
　・ガソリンスタンドなど

医療機器近くでの使用に関する際は、特に注意してください

●本機を使用中に気分が悪くなった場合は、ただちに使用を中止してください。
●病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
●医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
●混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
●医療機関内では次のことを守ってください。
・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
・病棟内では本機を使わない。
・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
・その他、医療機関による使用制限・使用禁止指示は必ず守る。
●植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称



①左スピーカー
②リモコン信号受信部
③スタンバイランプ（赤）
④電源入ランプ（緑）
⑤Bluetooth 接続ランプ（青）
⑥右スピーカー
⑦入力切換ボタン
⑧再生／一時停止ボタン（Bluetooth 機器）
⑨音量調整ボタン
⑩ウーファー
⑪主電源スイッチ
⑫DC IN 端子
⑬光デジタル音声入力端子
⑭外部音声入力端子
⑮入力切換ボタン
⑯リセットボタン
⑰高音調整ボタン
⑱低音調整ボタン
⑲音量調整ボタン
⑳スタンバイ／電源入ボタン
㉑イコライザーボタン

ご注意

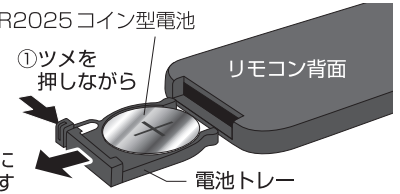
本機上面のガラスは強化ガラスを使用していますが、安全のため、以下の点に十分ご注意のうえご使用ください。ガラスが破損してけがをしたり、破損や故障、変形、変色のおそれがあります。

- ●本機を落とさない
- ●上から物を落とさない
- ●熱い物や重い物を載せない
- ●水分をこぼさない
- ●刃物などで衝撃を加えない

リモコンへの電池の入れかた

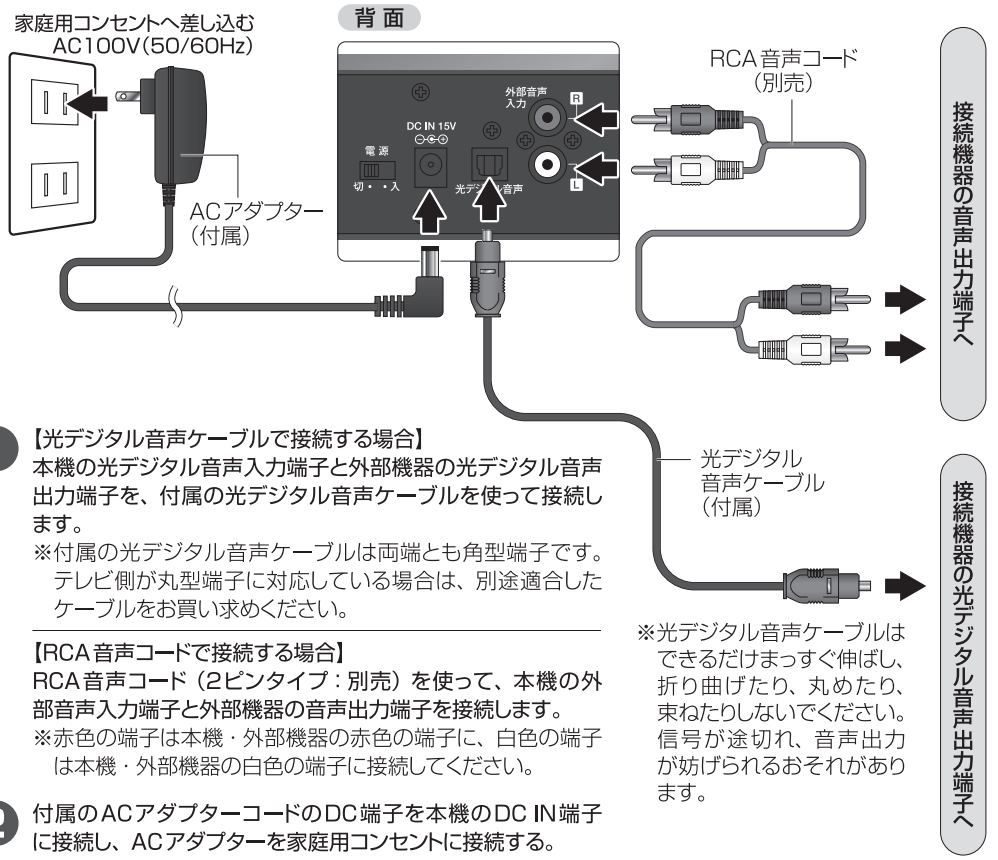
リモコンには、あらかじめ動作確認用の電池が装着されています。初めてお使いになるときは通電防止用の保護シートを抜き取ってご使用ください。電池交換時は以下の手順で行ってください。

1. リモコン背面底部の電池トレーのツメを押しながら、手前に引き出します。
2. コイン型電池（CR2025）を+と書いてあるほうが上になるように、電池トレーに入れます。
3. 電池トレーを元通りに奥までしっかり差し込みます。



接続・設置のしかた

接続機器（テレビなど）の電源が切れており、本機背面の主電源スイッチも切になっていることを確認してから接続してください。



1 【光デジタル音声ケーブルで接続する場合】
本機の光デジタル音声入力端子と外部機器の光デジタル音声出力端子を、付属の光デジタル音声ケーブルを使って接続します。
※付属の光デジタル音声ケーブルは両端とも角型端子です。テレビ側が丸型端子に対応している場合は、別途適合したケーブルをお買い求めください。

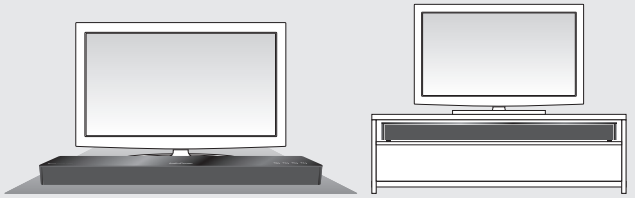
【RCA音声コードで接続する場合】
RCA音声コード（2ピンタイプ：別売）を使って、本機の外部音声入力端子と外部機器の音声出力端子を接続します。
※赤色の端子は本機・外部機器の赤色の端子に、白色の端子は本機・外部機器の白色の端子に接続してください。

※光デジタル音声ケーブルはできるだけまっすぐ伸ばし、折り曲げたり、丸めたり、束ねたりしないでください。信号が途切れ、音声出力が妨げられるおそれがあります。

2 付属のACアダプターコードのDC端子を本機のDC IN端子に接続し、ACアダプターを家庭用コンセントに接続する。

ご注意 付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

設置方法 テレビの前に置くか、テレビ台の中に置いてお使いになることをおすすめします。



- ●テレビの前に置くときは、テレビのリモコン信号受信部が隠れないようにしてください。
- ●本機底面のウーファー部に敷物などが触れていると、音がこもったり異音が出る場合がありますのでご注意ください。

基本操作

本機　リモコン

電源
切・・入

音量

入力切換

高音
低音
音量

EQ

1 本機背面の主電源スイッチを入にします。
- スタンバイランプ(赤)が点灯します。その後、同ランプが消灯し、電源入ランプ(緑)が点灯します。同時にBluetooth接続ランプが早く点滅します(サーチモード)。
- Bluetooth接続で使う場合は、あらかじめペアリング(P.8参照)をしたうえで操作してください。

2 本機またはリモコンの音量調整ボタンで音量を抑えます。
- ◀)を押すと小さくなり、(▶を押すと大きくなります。ボタンを押すたびに電源入ランプが光ります。
- 音量が最小または最大になると、スタンバイランプ(赤)が光ります。

3 外部機器の電源を入れます。

テレビの場合　ご覧になりたい放送局を選局します。

音楽などを再生する場合　外部機器側で再生の操作をします。

- Bluetooth機器の場合は本機の再生／一時停止ボタンでも再生⇆一時停止ができます。Bluetooth機器の再生中はBluetooth接続ランプがゆっくり点滅し、一時停止中など無動作時は点灯します。

4 本機またはリモコンの入力切換ボタンを数回押して、入力ソースを選びます。
- 押すたびに、Bluetooth→光デジタル音声入力端子→外部音声入力端子を切り換えることができます。
- 少し音量を上げ、それでも音声が聴こえない場合は、このボタンをさらに押して正しく選ばれているか確認してください。
- サーチモードでBluetooth接続ランプが早く点滅している場合などは、ボタン操作から入力が切り換わるまでに時間がかかることがあります。しばらく時間が経ってからゆっくりと押してください。

5 音量や音質を調節します。
- 音量の上げすぎにご注意ください。
- 音量調整ボタンや高音調整ボタン、低音調整ボタンは、最大・最小に達するとスタンバイランプが光ります。それを参考にしながら調節してください。
- **高音調整ボタン**：高音を強調したいときは⊕ボタンを押し、抑えたいときは⊖ボタンを押します。
- **低音調整ボタン**：低音を強調したいときは⊕ボタンを押し、抑えたいときは⊖ボタンを押します。
- **イコライザーボタン**：押すたびに音質が変わります。

ノーマル → ロック → ポップス → ジャズ → ディスコ → ノーマル

本機　リモコン

スタンバイ

電源
切・・入

6 終了するときは、音量を絞った後でスタンバイ／電源入ボタンを押してください。
- スタンバイ状態になると電源入ランプ(緑)が消灯し、スタンバイランプ(赤)が点灯します。
- 節電のため、主電源スイッチも切にしておくことをおすすめします。
- 長期間使わない場合は、背面の主電源スイッチを切にし、ACアダプターも家庭用コンセントから抜いてください。また、リモコンの電池も取り外してください。

リセットボタンについて

リセット

音量・音質の設定を工場出荷時の状態にリセットします。設定状態が分からなくなったときや、最初から設定し直したいときに便利です。
※小さな音で聴いているときは、リセットにより、大きな音が出力されることがありますのでご注意ください。

Bluetooth機器のペアリング方法

ペアリングとは、Bluetooth機器(携帯電話やスマートフォン、Bluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなどの音源側の機器)に本機を登録し、通信を確立する操作のことです。
- 初めて使うときや、Bluetooth機器側で登録を削除したとき、使用中に正常に動作しなくなったときは、ペアリングを行ってください。
- 多くの機器の場合、一度登録するとそれ以降は自動で接続されます。機種によってその都度接続が必要な場合は、本機との接続を確立した後、音楽などの再生をお楽しみください。

1 本機とBluetooth機器を1m以内の距離に近づけ、双方の電源を入れます。
- 両機器の間には障害物を置かないでください。
- 初めて電源を入れたときは、しばらくするとBluetooth接続ランプが早く点滅します(サーチモード)。
- Bluetooth接続ランプが点滅しない場合は、点滅するまで入力切換ボタンを数回押してください。

2 Bluetooth機器側で、ペアリング操作を行ってください。
- ペアリング方法の詳細は、接続機器に付属する取扱説明書などもご参照ください。

Bluetoothの設定画面を開く
- iPhone…「設定」
- Android…「設定」
- Windows mobile…「設定」
- NTT docomo…「LifeKit」
- SoftBank…「設定」
- au…「Bluetooth」

などのメニューからBluetooth機器の検索画面へ順次進んでください。

本機を登録する
お使いのBluetooth機器側で本機の名称「1957Z」が表示されたら、それを選択して登録します。
パスキーやPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

ペアリングが完了し接続状態になると短く電子音が鳴り、Bluetooth接続ランプの点滅が点灯に変わります。

次ページに続く

Bluetooth機器のペアリング方法（つづき）

ヒントとご注意

●**本機の対応プロファイルについて**／本機はBluetooth V3.0+EDR（プロファイル：A2DP、AVRCP）に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択をする必要がある機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。それ以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。

●**ペアリングの未完了状態が約15分続くと**／ペアリング操作がキャンセルされ、スタンバイ状態になります。その場合はもう一度最初からやり直してください。

●**一度登録後、接続がうまく行かなかったり、正常に動作しないときは**／ペアリング操作を再度行ってみてください。

●**お使いのBluetooth機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行っているときは**／本機とのペアリング操作ができないことがあります。その際は、他機との通信を中止したうえで行ってください。

●**Bluetooth機器との通信が途切れた場合は**／サーチモードになり、Bluetooth接続ランプが早く点滅します。この状態が約15分続くと自動的にスタンバイ状態になります。

故障かなと思ったら

症状	チェック項目
電源が入らない	●ACアダプターコードは正しく接続されていますか。
	●主電源スイッチは入になっていますか。
音が出ない	●(光デジタル音声ケーブル接続時)光デジタル音声ケーブルは正しく接続されていますか。
	●(光デジタル音声ケーブル接続時)ケーブルが曲がったり、丸められたり、束ねられたりしていませんか。
	●(RCA音声コード接続時)RCA音声コードの端子は正しく接続されていますか。
	●(Bluetooth接続時)ペアリングは正しく行いましたか。
	●(Bluetooth接続時)Bluetooth機器の設定は正しくなされていますか。
	●(Bluetooth接続時)Bluetooth機器とのペアリングまたは接続が解除されていませんか。
	●入力ソースは正しく選ばれていますか。
	●テレビなど接続機器の電源は入っていますか。
	●スタンバイボタンを押して電源を入れましたか。
	●本機または接続機器の音量が最小になっていませんか。
Bluetooth接続時に音が途切れる	●本機とBluetooth機器が10m以上離れていませんか。
	●本機とBluetooth機器の間に遮蔽物がありませんか。
	●周囲で無線LAN機器や電子レンジなどの電波を発する機器、Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。
	●周囲に無線機を使う施設や放送局がありませんか。
音質がおかしい	●イコライザーボタンや高音調整ボタン、低音調整ボタンで音質を変えていませんか。
	●リセットボタンを押して調整し直してください。
リモコンが効かない	●リモコンの電池が消耗していませんか。
	●電池の向きが逆ではありませんか。
	●本機から離れすぎていませんか。

主な仕様

外部電源	DC15V　2000mA（専用ACアダプター付属）
最大出力	総合出力30W（左右スピーカー 5W+5W、ウーファー 20W）
スピーカー	左右スピーカー　口径36mm（インピーダンス 4Ω）
	ウーファー　口径87mm（インピーダンス6Ω）
リモコン用電池	DC3V（CR2025コイン型電池　※動作確認用付属）
周波数特性	左右スピーカー 400Hz～18kHz ／ウーファー 80Hz～600Hz
接続入力端子	光デジタル音声入力端子　　外部音声入力端子（RCA端子）
外形寸法	幅75.5×高さ6×奥行11.5cm（突起物含まず）
質量	約2.7kg
付属品	専用ACアダプター、光デジタル音声コード（角型端子）、リモコン、取扱説明書（保証書付）

※仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。
※取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。

お手入れ方法

本体やリモコンの汚れは、柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、布をぬるま湯か薄めた中性洗剤で湿らせ軽く拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面の仕上げを傷めますので、絶対に使用しないでください。

シンナー、ベンジン、アルコールなどは使用しない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容及び「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。